



天候の変化を見逃さず、早めの防除を行いましょう！

予想期間 2月下旬～3月下旬 予報の根拠で、(+)は増加要因、(-)は減少要因を表す。

1 いちご うどんこ病

- (1) 発生予想 発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠
- ・現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比103%) (±)。
 - ・向こう1か月の気温は高い(+)、降水量はほぼ平年並(±)、日照時間はほぼ平年並(±)。
- (3) 対 策
- ・株が軟弱徒長すると発生しやすくなるため、適正な温度管理やかん水を行う。
 - ・発病前からショウチノスケフロアブル(RAC コード F:U13・9)等を予防的に散布し、発生が見られたら、パレード20フロアブル(F:7)等を散布する。葉裏まで十分に薬剤が付着するようにていねいに散布する。
 - ・曇雨天時にはくん煙剤の使用が有効だが、硫黄くん煙剤は天敵に悪影響を及ぼす可能性があるため、天敵導入ほ場では長時間のくん煙処理は避ける。
 - ・紫外線(UV-B)の照射は、本病の発生抑制に効果的である。
 - ・薬剤耐性菌が発生しやすいため、RACコードの異なる薬剤をローテーション散布する。

2 いちご 灰色かび病

- (1) 発生予想 発生量：**平年並**
- (2) 根 拠
- ・現在の発生量はやや少ない(ほ場率：平年比22%、株率：平年比33%) (-)。
 - ・向こう1か月の気温は高い(+)、降水量はほぼ平年並(±)、日照時間はほぼ平年並(±)。
- (3) 対 策
- ・多湿条件において発生しやすいので、下葉を除去し株元の風通しをよくするとともに、適切な水管理を行う。
 - ・発病した果実や果梗等は伝染源となるので、速やかに取り除き、施設外で処分する。
 - ・予防を主体に、セイビアーフロアブル(F:12)等を葉裏にもよくかかるように散布する。
- (4) 備 考
- ・[灰色かび病薬剤感受性検定結果](#)を当センターホームページ(HP)に掲載中。

3 いちご アザミウマ類

- (1) 発生予想 発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠
- ・現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比62%、株率：平年比100%) (±)。
 - ・向こう1か月の気温は高い(+)、日照時間はほぼ平年並(±)。
- (3) 対 策
- ・花を良く観察して、アザミウマ類が見られた場合には、マッチ乳剤(I:15)を散布する。
 - ・花の1割以上にアザミウマ類が見られる場合には、スピノエース顆粒水和剤(I:5)等を散布する。
- (4) 備 考
- ・[防除のポイントNo.19](#)、[アザミウマ薬剤感受性検定結果①](#)、[②](#)を当センターHPに掲載中。

4 いちご アブラムシ類

- (1) 発生予想 発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠
- ・現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比132%、株率：平年比171%) (±)。
 - ・向こう1か月の気温は高い(+)、日照時間はほぼ平年並(±)。
- (3) 対 策
- ・ほ場をよく観察し、アブラムシ類の発生を確認したら早急に防除する。マルチ上の甘露や白い脱皮殻は発生の目安となる。
 - ・茎葉が繁茂すると薬剤がかかりにくく、防除に失敗しやすくなるので、葉かき後に薬剤を散布する。
 - ・発生を確認したらウララ DF(I:29)等を葉裏にもよくかかるように散布する。コレマンアブラバチ等の天敵製剤を使用する際は、アブラムシ類の密度が高いと抑制までに時間がかかるため、低密度のうちに導入する。また、導入後はこまめにアブラムシ類の発生か所を観察し、マミーができていることを確認する。
- (4) 備 考
- ・[ワタアブラムシに対する主要薬剤の殺虫効果](#)を当センターホームページHPに掲載中。

5 いちご ハダニ類

- (1) 発生予想 発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠
- ・現在の発生量は平年並(ほ場率：平年比104%、株率：平年比130%) (±)。
 - ・向こう1か月の気温は高い(+)、日照時間はほぼ平年並(±)。

- (3) 対 策
- ・ほ場をこまめに観察し、増殖する前に防除を行う。
 - ・化学農薬に対する感受性低下が起りやすいため、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布するとともに、抵抗性が発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用する。
 - ・天敵の追加放飼時にハダニ類が多いと失敗しやすいため、天敵導入前に気門封鎖剤や天敵に影響の小さい薬剤を散布し、ハダニ類の密度を下げておく。
- (4) 備 考
- ・[ナミハダニ薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

6 トマト 灰色かび病

- (1) 発生予想
- 発生量：**やや多い**
- (2) 根 拠
- ・現在の発生量は平年並（ほ場率：平年比 95%、株率：平年比 55%）（±）。
 - ・向こう 1 か月の気温は高い（+）、降水量はほぼ平年並（±）、日照時間はほぼ平年並（±）。
- (3) 対 策
- ・施設内が多湿にならないように換気やかん水に注意する。また、循環扇や暖房機等を用いた通風により、結露防止に努める。
 - ・曇雨天が続くとハウス内が多湿となり、本病の発生リスクが高まるため、注意する。
 - ・発病した果実や葉等は伝染源となるので、速やかに取り除き、施設外で処分する。
 - ・予防を主体に、ベルコートフロアブル(F:M7)等を葉裏にもよくかかるように散布する。
- (4) 備 考
- ・[灰色かび病薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

7 トマト コナジラミ類（黄化葉巻病（TYLCV）、黄化病（ToCV））

- (1) 発生予想
- 発生量：**多い**
- (2) 根 拠
- ・現在のコナジラミ類の発生量は**やや多い**（ほ場率：平年比 105%、葉率：平年比 329%）（+）。
 - ・向こう 1 か月の気温は高い（+）、日照時間はほぼ平年並（±）。
- (3) 対 策
- ・コナジラミ類の侵入を防ぐため、ハウスの開口部（出入り口、側窓、天窗）に 0.4mm 目合以下のネットを張り、特に出入り口は二重にする。
 - ・黄色粘着板を設置し、コナジラミ類の早期発見に努める。
 - ・黄化葉巻病の耐病性品種であっても、本病に感染すると伝染源となるため、感受性品種と同様に適切な防除を行う。
 - ・発病株は見つけ次第抜き取り、土中に埋設するか、ポリ袋などで密封し枯死させてから処分する。
 - ・化学農薬に対する感受性低下が起りやすいため、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- (4) 備 考
- ・[防除のポイントNo22](#)、[タバココナジラミ薬剤感受性検定結果](#)を当センターHPに掲載中。

8 その他の病害虫

作物名	病害虫名	現 況	発生予想	作物名	病害虫名	現 況	発生予想
いちご	コナジラミ類	やや少	平年並	にら	アザミウマ類	平年並	やや多
トマト	うどんこ病	平年並	やや多	きく	ハダニ類	やや多	多
きゅうり	べと病	少	やや少				

季節の病害虫防除対策

○水稻の種子伝染性病害の対策について

- ・種子消毒を適切に行い、使用する床土や育苗箱、育苗器などの育苗資材・器具もしっかり消毒することで、苗立枯病や種子伝染性病害の発生を防止しましょう。
- ・近年、特に育苗期間中の高温が原因と考えられる病害（もみ枯細菌病、苗立枯細菌病など）の発生がみられていますので、適正な温湿度管理に留意しましょう。

○いちごの親株定植準備について

- ・親株床は、連作にならない排水の良いほ場を選び、必ず土壌消毒を行います。親株は無病の専用株を用い、萎黄病や炭疽病を持ち込まないよう注意します。

○施設の微少害虫の増加に注意

- ・気温の上昇に伴い、アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類などの微細害虫が増加しやすい環境となります。施設内をこまめに観察し、発生を確認したら早急に防除しましょう。

○トマト等のトマトキバガについて

- ・トマトキバガが県内のトマトで発生しています。被害の拡大を防ぐため、ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。
- ・本虫の生態や防除対策は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の[トマトキバガ防除対策マニュアル - 基本情報編 -](#)、当センターの[令和7（2025）年度植物防疫ニュース No. 3](#)で御確認ください。

農薬の安全使用等

○薬剤抵抗性発達の抑制

- ・薬剤で防除する際には、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布しましょう。

○有用生物への影響に留意

- ・花粉媒介昆虫（ミツバチ、マルハナバチ）や天敵に対する影響日数に注意して薬剤を選択しましょう。

○農薬適正使用の徹底

- ・農薬は適正に保管・管理しましょう。
- ・農薬を使用する際は、容器のラベルに記載された内容を遵守し、農薬による事故等の発生を防ぎましょう。
- ・薬剤散布の後には必ず作業内容を記録し、防除履歴を作成しましょう。

1か月気象予報（予報期間2月21日から3月20日 2月19日 気象庁発表）

- ・期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- ・向こう1か月の降水量はほぼ平年並の見込みです。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）

項目	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気温	20	30	50
降水量	30	30	40
日照時間	40	30	30

詳しくは農業総合研究センター 環境技術指導部 防除課（Tel 028-665-1244）までお問合せください。

病虫害情報発表のお知らせはX「栃木県農政部(@tochigi_nousei)」、農業総合研究センターホームページ (<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html>) でもご覧いただけます。

